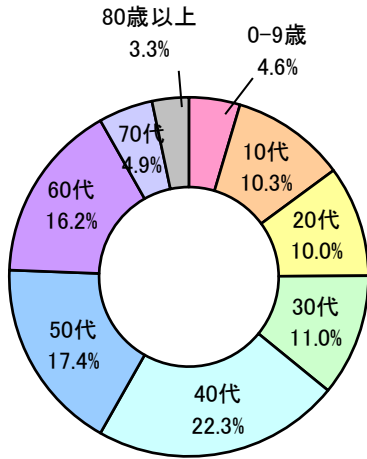


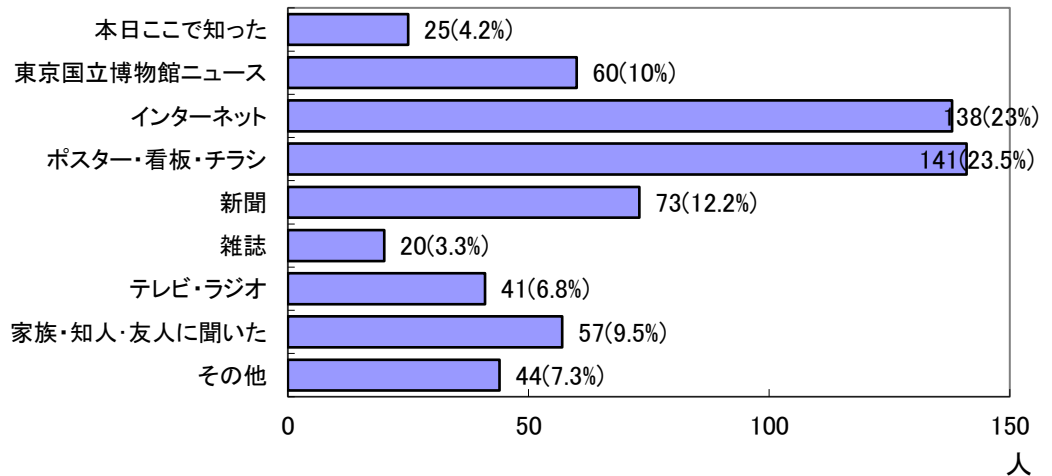
アンケート集計結果

開催期間：平成30年9月2日（火）～平成30年12月9日（日）（60日間）
 回答者数：397人（総入館者数：80,191人 アンケート回収率：0.5%）

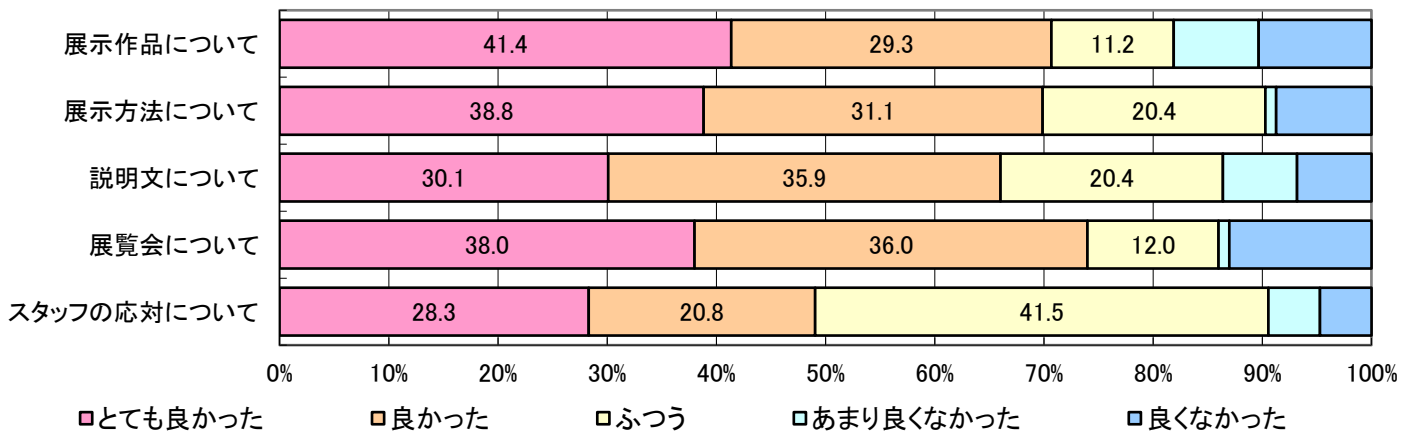
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・「デュシャン」と「日本美術」に共通項があるという視点が斬新的で新たな発見ができてよかった。
- ・作品を追いながら、デュシャンの人生と芸術を知ることができた。
- ・デュシャンのポートレートなどを取り入れた展示デザインがとてもよかった。
- ・日本では中々見ることのできない作品を見ることができた。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	7.8	10.3
展示方法	1.0	8.7
説明文	6.8	6.8
展覧会	1.0	13.0
スタッフの対応	4.7	4.7

(%)

マルセル・デュシャン(1887 - 1968)は、伝統的な西洋芸術の価値観を大きく揺るがし、20世紀の美術に衝撃的な影響を与えた作家です。2部構成で、第1部「デュシャン 人と作品」(原題The Essential Duchamp)展は、フィラデルフィア美術館が有する世界に冠たるデュシャン・コレクションより、油彩画、レディメイド、関連資料および写真を含む計150余点によって、彼の創作活動の足跡をご覧いただきました。第2部「デュシャンの向こうに日本がみえる。」展は、もともと西洋とは異なった社会環境のなかで作られた日本の美術の意味や、価値観を浮かび上がらせることによって、日本の美の楽しみ方を新たに提案させていただいた本展は8万人を超える方々にご覧いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して74%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。その一方で「デュシャンと日本美術の対比が難しい」、「セット券に気付かなかった」などのご意見も寄せられました。

今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。